

Companion[®] 5

multimedia speaker system

オーナーズガイド

この度はCompanion[®] 5 multimedia speaker systemをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。また、必要なときにご覧になれるよう大切に保管しておくことをおすすめします。



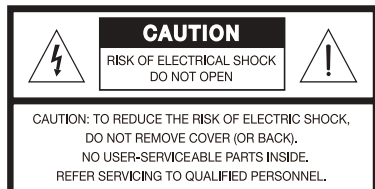
SAFETY INFORMATION


このオーナーズガイドは必ずお読みください


オーナーズガイドの指示に注意し、慎重に従ってください。ご購入いただいたシステムを正しくセットアップして操作し、機能を十分にご活用いただくために役立ちます。また、必要な時にすぐご覧になれるように、大切に保管しておくことをおすすめいたします。

▲ 警告： 火災や感電を避けるため、雨の当たる場所や湿度の高い場所で製品を使用しないでください。

▲ 警告： 水漏れやしぶきがかかるような場所で、製品を使用しないでください。また、花瓶などの液体が入った物品を製品の上に置かないでください。他の電気製品と同様、システム内に液体が侵入しないように注意してください。液体が侵入すると、故障や火災の原因となることがあります。



 正三角形に矢印付き稲妻マークが入った表示は、製品内部に電圧の高い危険な部分があり、感電の原因となる可能性があることをお客様に注意喚起するものです。

 正三角形に感嘆符が入った表示は、製品本体にも表示されている通り、このオーナーズガイドの中に製品の取り扱いとメンテナンスに関する重要な項目が記載されていることを、お客様に注意喚起するものです。

▲ 警告： 極性プラグを使用する場合、感電を避けるため、電源コードをコンセントにつなぐ際には、プラグの幅が広い方の刃をコンセントの幅が広い方のスロットに差し込んでください。プラグは根元まで完全に差し込んでください。

▲ 警告： 火の付いたろうそくなどの火気を、製品の上や近くに置かないでください。

▲ 注意： システムやアクセサリを改造しないでください。許可なく製品を改造すると、安全性、法令の遵守、およびシステムパフォーマンスを損なう原因となる場合があります。

▲ 注意： 大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。特に長時間に渡るヘッドホンのご使用の際は、大きな音量はお避けください。

CE This product conforms to all EU Directive requirements as applicable by law. The complete Declaration of Conformity can be found at www.Bose.com/compliance.

注記： 万一の事故や故障に備えるために、電源プラグはよく見えて容易に手が届く位置にあるコンセントに接続してください。

注記： この製品は、屋内専用機器です。屋外、RV 車内、船上などで使用するようにには設計されていません。また、そのような使用環境におけるテストも行われていません。

控えとして、製品のシリアル番号を下の欄にご記入ください。

シリアル番号とモデル番号は、アクースティマスモジュールの背面に記載されています。

シリアル番号 _____

購入日 _____

このガイドとともに、ご購入時の領収証と保証書を保管することをおすすめします。

©2007 Bose Corporation. 本書のいかなる部分も、書面による事前の許可のない複写、変更、配布、その他の使用は許可されません。Bose、COMPANION、TrueSpace および Acoustimass は Bose Corporation の登録商標です。その他の商標は所有権を保持する各社に帰属します。

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

1. 本書をよくお読みください。製品の使用前に全体に目を通してください。
2. 必要な時にご覧になれるよう、本書を保管してください。
3. 製品上およびオーナーズガイドに示されている全ての警告に留意してください。
4. 全ての指示に従ってください。
5. この製品を水の近くで使用しないでください。この製品を風呂、洗面台、台所の流し、洗濯槽、湿気のある地下室、プールの近く、その他の水や湿気のある場所では使用しないでください。
6. お手入れは乾いた布を使用し、ボーズ社の指示に従って行ってください。お手入れの前に、製品の電源プラグをコンセントから抜いてください。
7. 換気孔は塞がないでください。ボーズ社の指示に従って設置してください。製品の動作の信頼性を確保し、過熱を防ぐために、設置の際に適切な通気を妨げないでください。例えば、ベッドやソファの上など、通気孔が塞がれるような場所に置かないでください。本棚やキャビネットなど、通気孔の空気の流れを妨げるような密閉された家具の中には置かないでください。
8. ラジエータ、暖房送風口、ストーブ、その他の熱を発生する装置(アンプを含む)の近くには設置しないでください。
9. 極性プラグを使用する場合、極性プラグや接地極付きプラグの安全機能を損なうような使い方はしないでください。極性プラグには2つの端子があり、片方の端子がもう一方の端子よりも幅が広がっています。また、接地極付きプラグには2つの端子に加え、接地用のアース棒が付いています。極性プラグの広い方の端子および接地極付きプラグのアース棒は、お客様の安全を守る機能を果たします。製品の付属のプラグがお使いのコンセントに合わない場合は、電気事業者などにご相談ください。
10. 電源コードが踏まれたり挟まれたりしないように保護してください。特に電源プラグやテーブルタップ、機器と電源コードの接続部などにはご注意ください。
11. 必ずボーズ社により指定された付属品、あるいはアクセサリのみをご使用ください。
12. メーカーが指定する、あるいは製品と一緒に購入されたカート、スタンド、三脚、ブラケット、または台のみをご使用ください。カートを使用する場合、製品の載ったカートを移動する際には、転倒による負傷が起きないように十分にご注意ください。
13. 雷雨時や長期間使用しない場合は、製品の損傷を防ぐため、電源プラグを抜いてください。
14. 修理が必要な際には、サービスセンターにお問い合わせください。製品に何らかの損傷が生じた場合、例えば電源コードやプラグの損傷、液体や物の内部への落下、雨や湿気などによる水濡れ、動作の異常、製品本体の落下などの際には、直ちに電源プラグを抜き、修理をご依頼ください。お客様による製品の修理はお止めください。カバーを開いたり取り外したりする際に、高電圧やその他の危険にさらされる場合があります。修理に関しましては、ボーズ株式会社 サービスセンターにお問い合わせください。
15. 火災や感電を避けるため、壁のコンセントや延長コード、テーブルタップなどの定格容量を超える状態で製品を使用しないでください。
16. 製品に異物が混入したり、液体が浸らないようにしてください。異物や液体が電源回路に触れてショートすると、火災や感電の原因となる恐れがあります。
17. 製品本体の安全に関する表示を参照してください。
18. 適切な電源を使用してください。オーナーズガイドまたは製品本体の表示に従い、製品の電源プラグを適切な電源に差し込んでください。

Information about products that generate electrical noise

If applicable, this equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, this is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, you are encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment to an outlet on a different circuit than the one to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This product complies with the Canadian ICES-003 Class B specifications.



Names and Contents of Toxic or Hazardous Substances or Elements

Part Name	Toxic or Hazardous Substances and Elements					
	Lead (Pb)	Mercury (Hg)	Cadmium (Cd)	Hexavalent (CR(VI))	Polybrominated Biphenyl (PBB)	Polybrominated diphenylether (PBDE)
PCBs	X	0	0	0	0	0
Metal parts	X	0	0	0	0	0
Plastic parts	0	0	0	0	0	0
Speakers	X	0	0	0	0	0
Cables	X	0	0	0	0	0

0: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in all of the homogeneous materials for this part is below the limit requirement in SJ/T 11363-2006.

X: Indicates that this toxic or hazardous substance contained in at least one of the homogeneous materials used for this part is above the limit requirement in SJ/T 11363-2006.

スピーカーの防磁について

●スピーカーアレイの防磁について

スピーカーアレイは、防磁型になっていますのでブラウン管式のテレビやモニターなどに近づけても、画面に色ムラなど影響が生じにくくなっていますが、まれに画面に色ムラなど影響が生じる場合があります。その場合はテレビやモニターからスピーカーアレイを十分離し、テレビの電源を切り、15分から30分の間隔をあけてから再度テレビの電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって、正常な画面に戻ります。その後も、画面に影響が生じる場合には、スピーカーアレイをさらにテレビから離してご使用ください。

●アコースティマスモジュールの防磁について

アコースティマスモジュール内部のスピーカーは、防磁処理が施されていませんので、ブラウン管式のテレビやモニターなどに近づけないでください。近づけると、画面に色ムラなど影響が生じる場合があります。その場合はテレビやモニターからアコースティマスモジュールを十分（約15cm以上）離し、テレビの電源を切り、15分から30分の間隔をあけてから再度テレビの電源を入れてください。テレビの自己消磁機能によって、正常な画面に戻ります。その後も、画面に影響が生じる場合には、アコースティマスモジュールをさらにテレビから離してご使用ください。

音のエチケット

●音量は時や場所に応じて適度な大きさに調整してください。特に、静かな夜間は小さな音でも通りやすいものです。

あなたが放送やCD、テープまたはビデオディスクやその他市販のソフトから録音や録画したものは、個人として楽しむほかは、著作権上、権利者に無断で使用することはできません。

目次

安全のために

安全上の留意項目	2
特長	6
本体のお手入れについて	6
開梱時のご注意 (付属品について)	7

名 称

各部の名称	7
-------------	---

準備と基本操作

設置方法	8
外部機器との接続のしかた	10
電源ON/OFFと音量調整および使い方	11
コンピューターの設定 (Windows XP)	12
コンピューターの設定 (Mac OS X)	15

そ の 他

故障かな?と思ったら	17
お問い合わせ先	18
仕 様	18
保 証	19

特 長

●リアルで豊かなサラウンド再生を実現する超小型スピーカーアレイ

一見2つに見えるスピーカーには、ドライバーユニットを各2本計4本内蔵。人間の聴覚特性を応用した独自技術により、自然な5.1ch音場を再現します。

●前方2つのスピーカーで自然なサラウンドを実現した独自技術「TrueSpace®」

ボーズ独自のデジタルサラウンドプロセッサー「TrueSpace®」を搭載。高度な信号処理により前方2つのスピーカーだけで、臨場感あふれる5.1chサラウンドと、自然な音楽再生を両立しています。

●パワフルでクリアな低音を再生するコンパクトなアコースティクスモジュール

深く豊かな低音再生を実現したアコースティクスモジュールは、方位感のないピュアな低音だけを再生するので、設置場所を選びません。

●PCとの簡単接続を実現するUSBケーブル

USBケーブル(5.1ch入力可)を装備。PCとの接続が容易に行え、映画や音楽、ゲームなどを迫力あるサウンドで手軽に楽しめます。

●どんな音量時でも自然でクリアなサウンドを提供する独自の音質調整回路

ボリュームを絞っても、最適な音響バランスに自動補正。また、大音量時でも歪みを抑えてクリアなサウンドを提供するコンプレッション回路を搭載しています。

本体のお手入れについて

通常は、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときには、中性洗剤を水で薄めた液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコール、

化学薬品を使用すると表面が侵されたり、文字が消えたり外装ムラになることがありますから絶対に使わないでください。また、スプレー式の殺虫剤や消臭剤、芳香剤などもかかからないように御注意ください。

開梱時のご注意 (付属品について)

箱や梱包材は、後日修理メンテナンス等が必要になった場合のために処分せずに保管しておくことをおすすめします。

付属品を確認してください。



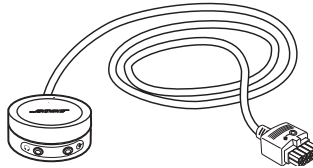
USBケーブル×1本



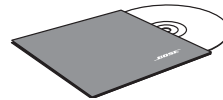
電源ケーブル×1本



アコースティクスモジュール用
ゴム足×4個



コントロールポッド×1台

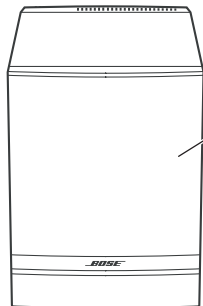


デモディスク

もし、開梱時に損傷などが発見された場合や内容物が不足しているときは、そのままの状態を保ち、ただちにお買い上げになった販売店までご連絡ください。そのままでのご使用はおやめください。

各部の名称

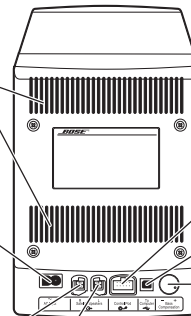
アコースティクス
モジュール



〈前面〉

グリル

〈背面〉



ポート

電源入力端子

スピーカーアレイ
右(R)側
出力端子

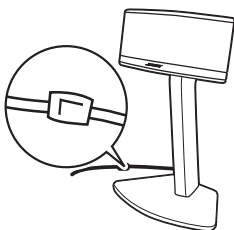
スピーカーアレイ
左(L)側出力端子

コントロールポッド用
端子

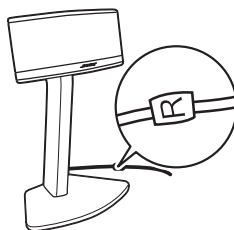
USB接続端子

Bass調整つまみ

スピーカーアレイ

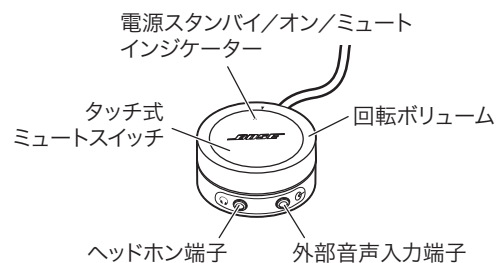


左(L)側



右(R)側

コントロールポッド



設置方法

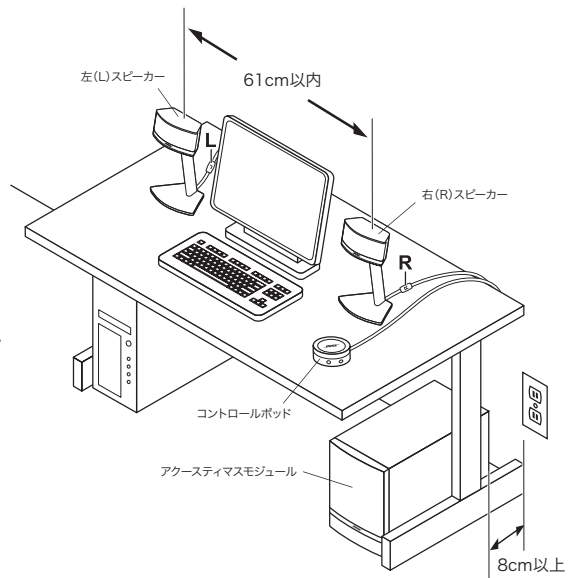
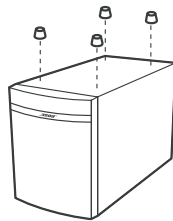
ここに示しました設置のガイドラインは、製品の性能を最大限に活かして、より広い空間印象をお楽しみいただくためにお勧めするものです。これを参考に、ご自分のお好みやお部屋の状況に応じて、より良い設置場所を探して頂いても構いません。

アコースティマスモジュールの設置位置

次のことを確認してください。

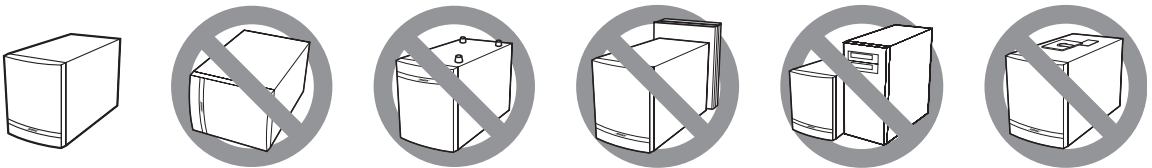
- ・アコースティマスモジュールに接続するケーブル類が届く範囲であること。
- ・アコースティマスモジュールは非防磁型のスピーカーなので、ブラウン管を使用しているコンピューター用モニターやテレビは画面に影響を与えないように15cm以上は離れていること（機種とブラウン管のサイズによって異なります）。
- ・アコースティマスモジュールは音が出る前面部分を塞がないように、効率よく低音エネルギーが得られるように、グリル部分を部屋に向けるか、壁に沿うように設置します。
- ・アコースティマスモジュール後部のポート部分を塞がないように、壁までの距離を8cm以上離してください。

- ・アコースティマスモジュールの設置する位置が決まったら、底面の4すみに付属のアコースティマスモジュール用ゴム足を右図のように貼り付けてください。安定感を高め、床やデスクに傷が付くのを防ぎます。



⚠注意 製品のゴム足について

- ・ゴム足は素材の性質から、設置面の塗料によっては、移行または汚染を示す可能性があります。事前にご確認のうえご使用ください。
- ・付属のゴム足は高摩擦性を有している分、塗装面との接触面に密着しやすい性質を持っております。接触面の一部を剥がしてしまう可能性も有りますので、事前にご確認のうえご使用ください。



⚠注意

アコースティマスモジュールは防磁処理がされていません。そのため、コンピューター用モニター、フロッピーディスク、外付けハードディスク、その他磁気による記録媒体から必ず15cm以上離して設置してください。これらのものをアコースティマスモジュール上に直接置いたりあるいは近接した場所に保管すると内容が消えたり、再生できなくなる場合があります。

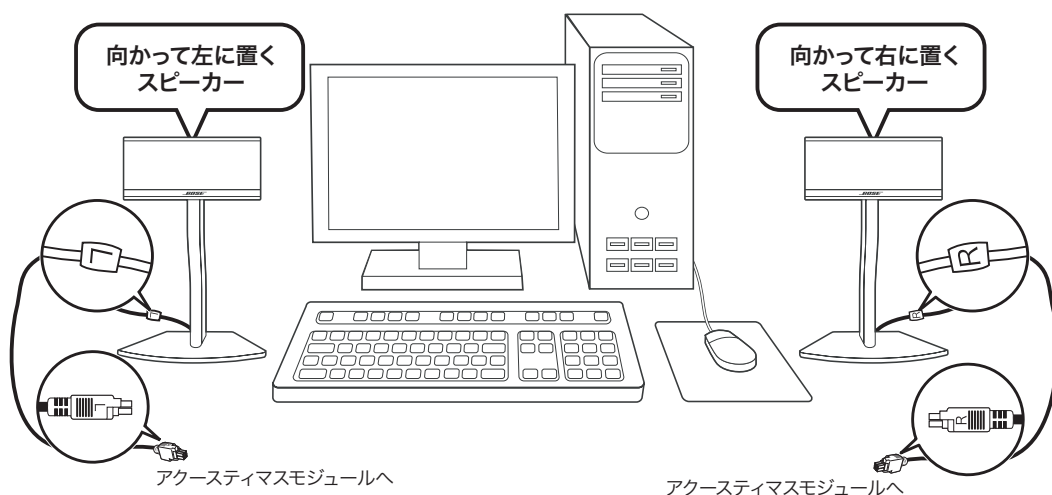
設置方法

スピーカーアレイの設置について

- ・ 1人または2人を対象にしたパーソナルサウンドシステムです。スピーカーアレイに向かって比較的近距离のリスニングポジションで最大のサラウンド効果が得られます。
- ・ 最適なサラウンド効果を得るためには、左右のスピーカーの間隔を最大61cm以内に設置することをおすすめします。
- ・ スピーカーは必ず正面を向けて設置してください。内側に向けたり、外側に向けたりすると良い結果が得られません。
- ・ 書棚やテレビラックなどの上に置く場合は、必ずスピーカーを棚の前面部に設置してください。書棚の奥に設置するとサラウンド感が損なわれます。

♪ スピーカーアレイは、コンピューター用モニターやテレビの近くに設置しても画面に影響がでないような防磁型を採用しています。

スピーカーの左右を間違えないでください。



- ・ スピーカーの左右を間違えると、サラウンドにならないばかりでなく、ステレオで聴くときにも、映像や音の定位などの本来の性能が発揮されません。

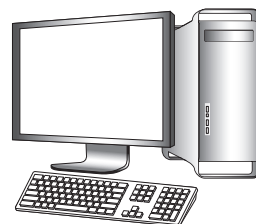
外部機器との接続のしかた

※すべての接続が終わるまでは、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。

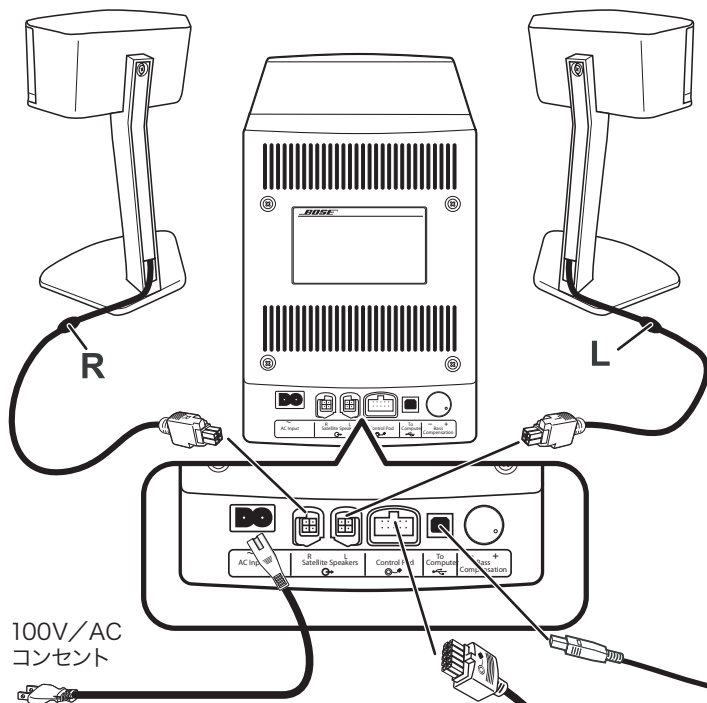
※電源を入れる前は、必ずコントロールポッドの回転ボリュームは、反時計方向に回して最小の位置にしておいてください。

※コンピューターの設定方法や使い方は、コンピューターの取扱説明書やヘルプをご覧ください。

Windows XP SP3 以降、
Mac OS X v10.4.6以降のOSを
搭載したコンピューター



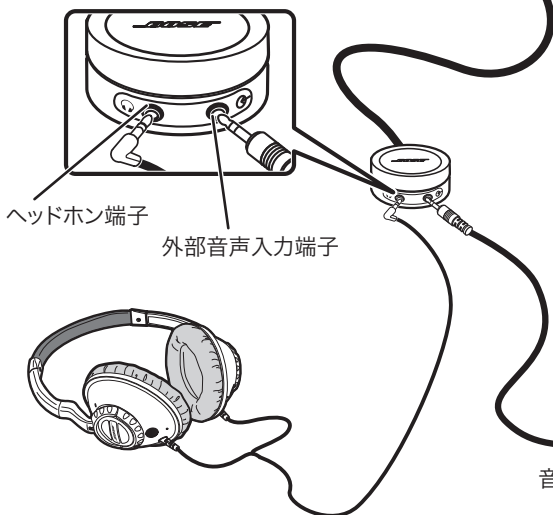
USB端子へ



100V/AC
コンセント

アコースティクスモジュール背面の入力端子と コントロールポッドの外部入力端子を 同時使用する場合の音量バランスについて

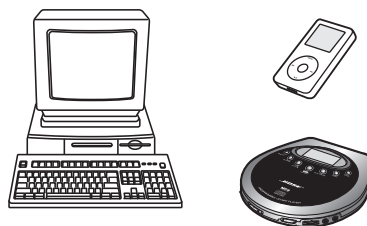
アコースティクスモジュールに入力する音の大きさと、
コントロールポッドに入力する音の大きさのバランス
調整は、接続する機器の音量調節機能を利用してくだ
さい。



ヘッドホン端子

外部音声入力端子

音声出力端子へ



システム条件(19ページ)を
満たしていないPCまたは、TVなど

ヘッドホン端子にヘッドホンの
プラグを差し込むと、自動的に
スピーカーの音が止まります。

♪ Companion 5 に外部音声機器を接続する場合は、それらの音質エフェクト機能はオフにしてください。
注意

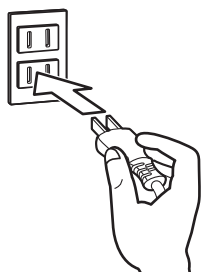
電源ON/OFFと音量調整および使い方

※すべての接続が終わるまでは、電源プラグをコンセントに差し込まないようにしてください。

※各機器の接続にまちがいがなければ、もう一度確認してください。

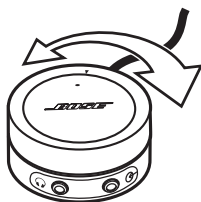
※電源を入れる前は、必ずコントロールポッドの回転ボリュームは、反時計方向に回して最小の位置にしておいてください。

電源プラグをコンセントに差し込んでください。



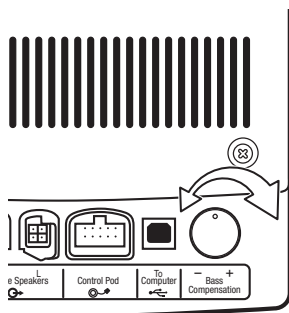
●音量調節のしかた

回転ボリュームを、時計方向に回すと音が大きくなります。反時計方向に回すと音が小さくなります。



●低音調節のしかた

つまみを時計方向に回すと低音の量が多くなり、反時計方向に回すと低音の量が少なくなります。



●スタンバイモードについて

本機には、電源のON/OFFスイッチはありませんが、消費電力を節約するスタンバイモードがあります。次のような状態で約6分間経過すると、自動的にスタンバイモードになります。

- ・コントロールポッドのアナログ入力端子に音声の入力がない（外部の機器が接続されている、されていないにかかわらず）。
- ・電源が入っているPCにUSBケーブルで接続していない。

●スタンバイモードから復帰させるには

次の2つの方法があります。

- ・コントロールポッドの天面のアルミ部分をタッチする。
- ・電源の入っているPCにUSBケーブルをつなぐ。

※スタンバイモードから復帰できないときは、18ページ「故障かな?と思ったら」を参照してください。

●ミュートのON/OFFについて

天面のアルミ部分に触れるとミュート（一時的消音）になります。ミュートを解除する場合は、もう一度天面のアルミ部分に触れてください。



インジケーターの色

- ・ミュート時…… オレンジ
- ・ミュート解除…… 緑
- ・スタンバイモード…… 赤

♪ 大音量で長時間に渡り音を再生すると、内蔵の保護回路が働き、音量が自動的に下がることがあります。

コンピューターの設定 (Windows XP)

Windows OSがインストールされているパーソナルコンピューターの場合

対応OS : Windows XP Service Pack 3、Windows Vista Service Pack 2、Windows 7
USB 2.0ポートが使用できること

※上記条件に適合していないコンピューターで使用する場合は、コンピューターのアナログ音声出力(ライン出力、ヘッドホン出力)をオーディオ入力ケーブルを使って、コントロールポッドの外部音声入力端子に入力して使用します。

注意 設定が完了するまでは、全てのケーブルを接続したままにしておいてください。

1

本機の電源を入れ、PCのUSB端子に本機のUSBプラグを接続します。

しばらくすると画面に右図のようなメッセージが次々と表示され、本機とPCの接続が完了します。

(所要時間約30秒)

※もし違うメッセージが表示された場合は「故障かな?と思ったら」(17ページ)を参照してください。

スタート



終了

新しいハードウェアが見つかりました

Bose USB Audio

新しいハードウェアが見つかりました

USB 複合デバイス

新しいハードウェアが見つかりました

Bose USB Audio

新しいハードウェアが見つかりました

USB オーディオ デバイス

新しいハードウェアが見つかりました

Bose USB Audio

新しいハードウェアが見つかりました

USB ヒューマン インターフェース デバイス

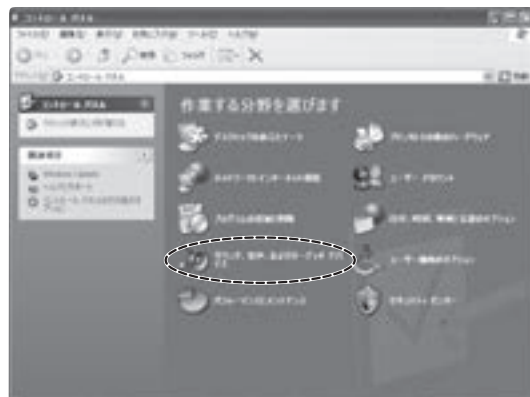
新しいハードウェアが見つかりました

新しいハードウェアがインストールされ、使用準備ができました。

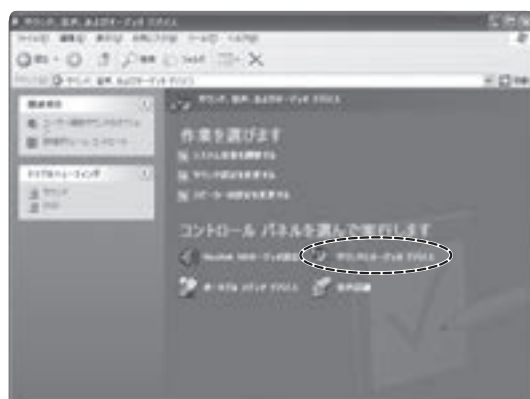
コンピューターの設定 (Windows XP)

2 スタートからコントロールパネルを開きます。

3 「サウンド、音量、オーディオデバイス」を選びます。



4 「サウンドとオーディオデバイス」を選びます。



コンピューターの設定 (Windows XP)

- 5** 「スピーカーの設定」項目の「詳細設定」を選びます。



- 6** 「5.1 サラウンドサウンドスピーカー」を選びます。



- 7** 「適用」を押して、「OK」を押して終了です。



コンピューターの設定 (Mac OS X)

Mac OSがインストールされているパーソナルコンピューターの場合

対応OS : Mac OS X v10.4.6以降

USB 2.0ポートが使用できること

※上記条件に適合していないコンピューターで使用する場合は、コンピューターのアナログ音声出力（ライン出力、ヘッドホン出力）をオーディオ入力ケーブルを使って、コントロールポッドの外部音声入力端子に入力して使用します。

注意 設定が完了するまでは、全てのケーブルを接続したままにしておいてください。

1 「システム環境設定」を開きます。



2 「サウンド」を開きます。



3 「出力」を選んで、「サウンドを出力する装置の選択」内の「Bose USB Audio」を選びます。

「システム環境設定」を終了します。

コンピューターの設定 (Mac OS X)

- 4 「アプリケーション」フォルダー→「ユーティリティ」フォルダー
→「Audio MIDI 設定」を開きます。

- 5 「オーディオ装置」を選んで、
「プロパティ」、「デフォルトの出力」、
「システム出力」全て、
「Bose USB Audio」を選びます。



- 6 「スピーカーを設定」を選びます。



- 7 「マルチチャンネル」を選びます。

「スピーカー」の選択で
「5.1 サラウンド」を選びます。



- 8 「適用」を押します。
「完了」を押して設定を終了します。



故障かな?と思ったら

原因/症状	処置
<p>USBプラグを接続してドライバーのインストールがうまくいかなかった</p> <p>取説に書かれているメッセージとは違うメッセージが出た</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ドライバーのインストール中にUSBプラグを抜いてしまったために正しくインストールができなかった。もう一度USBプラグを差し込んでやり直す。 ・ 違うUSB端子に接続し直す。 ・ USBハブを使用していて、(低速)USB機器と本機が同じハブに接続しているために本機の性能が発揮されなくなる場合がある。この場合は同じハブに接続されている(低速)USB機器を全て外すか、本機のUSBプラグをPC本体のUSB端子に接続し直す。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・ USBプラグを接続し直してみる。 ・ スピーカーコードや、電源、コントロールポッド、USBケーブルの接続が適切に行われていることを確認する。 ・ スピーカーコードが断線していたり、被覆が切れて中の線がショートしていないか確認する。 ・ コントロールポッドの入力端子を使用している場合、接続している音源の信号レベルが低すぎないことを確認する。 ・ ミュートがONになっていないことを確認する。コントロールポッドのインジケーターが緑色になっていることを確認する。 ・ ヘッドホンをコントロールポッドのヘッドホン端子から外す。 ・ PCの動画や音楽を再生するプログラムを起動し直してみる。 ・ プログラムの音量ボリュームを調節する。ミュートONになっていないか確認する。
音が歪んでいる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音源からの音量を下げて、コントロールポッドのボリュームを上げる。 ・ 音声ソース機器の音質エフェクト機能をオフにする。
ブツブツなどの異音がPCから聞こえる	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本機とPCとの接続にUSBハブを使用すると起きる場合がある。USBハブを通さずに直接本機のUSBプラグをPCに接続する。
十分な音量が得られない	<ul style="list-style-type: none"> ・ PCの音量を上げる。コントロールポッドに接続している機器の音量を上げる。
音の広がり感やステレオ感が無い、高域ばかりが耳に付く	<ul style="list-style-type: none"> ・ スピーカーアレイの左右を間違えていると正しいサラウンドの再生ができないので、スピーカーの左右を確認する。 ・ アクースティマスモジュールのBass調整つまみを時計方向に回して低音を上げてみる。
片方のスピーカーアレイしか鳴らない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全ての部分の接続を確認する。プラグが完全に差し込まれていることを確認する。 ・ 音源がアクースティマスモジュールに問題がある場合は、コントロールポッドに別の音源を接続してみる。正しく再生できた場合は音源に問題があるので、音源となる機器を交換する。症状が変わらない場合は本機に問題があるので、サービスセンターまで連絡する。 ・ 音源の左右のバランスを調整する。

故障かな?と思ったら

原因/症状	処置
コントロールポッドの天面のアルミ部分に触れてもインジケータが赤色から変わらない	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヘッドホンを接続している場合は、ヘッドホンを外す。 ・ PCを再起動してみる。 ・ USBプラグを正しく接続し直してみる。 ・ USBプラグをPCから正しく外して、本機のACプラグをコンセントから抜き、1分以上経ってからもう一度差し込み、USBプラグを接続し直してみる。

お問い合わせ先

故障および修理のお問い合わせ先

ボーズ株式会社 サービスセンター


お客様専用ナビダイヤル  0570-080-023

PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-1124へおかけください。

〒206-0035 東京都多摩市唐木田1-53-9 唐木田センタービル

製品等のお問い合わせ先

ボーズ株式会社 ユーザーサポートセンター

お客様専用ナビダイヤル  0570-080-021

PHS、IP電話からは、Tel 03-5489-0955へおかけください。

仕様

● 総 合

形 式	アンブ内蔵スピーカーシステム
入 力 端 子	3.5mmステレオミニジャック×1 (コントロールポッド)、 USB×1 (USBケーブル)
ヘッドホン出力端子	3.5mmステレオミニジャック×1 (コントロールポッド)
電 源	AC100V(50/60Hz)
カ ラ	グレーとブラックのツートンカラー
付 属 品	USBケーブル×1、電源ケーブル×1、コントロールポッド×1 アコースティマスモジュール用ゴム足×4、デモディスク×1

● スピーカーアレイ

外 形 寸 法	147 (W) × 225 (H) × 97 (D) mm
質 量	850g (スピーカーコード込み)

仕 様

● アクースティクスモジュール

外形寸法	173 (W) × 218 (H) × 425 (D) mm
質	8.3kg

● コントロールポッド

外形寸法	φ63×29 (H) mm
質	210g (ケーブル込み)

● システム条件

Mac OS がインストールされているパーソナルコンピューター
Mac OS X v10.4.6 以降
USB 2.0 ポートがあること

Windows operating system がインストールされているパーソナルコンピューター
Windows XP Service Pack 3、Windows Vista Service Pack 2、Windows 7
USB 2.0 ポートがあること

クロック周波数：1GHz 以上 ペンティアムプロセッサ同等以上
メモリー：256MB 以上

コントロールパネルのサウンドとオーディオデバイスのスピーカーの設定タブで 5.1 サラウンドスピーカーが選択できること

※ ・Mac及びMac OSは、Apple Inc.の商標です。
・Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

保 証

保証の内容および条件は付属の保証書をご覧ください。

ボーズ株式会社 <http://www.bose.co.jp/>
〒150-0036 東京都渋谷区南平台町16-17 住友不動産渋谷ガーデンタワー 5階

BOSE
Better sound through research

-
- 仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。
 - 弊社取扱以外の製品については、保証の責任を負いかねますのでご注意ください。

OM-1350-M
12-08 (B)

